

令和2年度 (第4回) 認定 教員免許状更新講習一覧

(必修領域)「全ての受講者が受講する領域」 ・ (選択必修領域)「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」

(選択領域)「受講者が任意に選択して受講する領域」

講習の名称	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講対象者	受講料	受講人数
「必修」① 教育の最新事情	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観についての省察」、「子供の発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を求めるところを目指す。	三羽 光彦 (芦屋大学 大学院教授) 三浦 正樹 (芦屋大学 大学院教授) 林 知代 (芦屋大学 大学院教授) 藤本 光司 (芦屋大学 大学院教授)	6時間	令和2年8月18日(火)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭	6,000円	80人
「選択必修」② これからの学校教育についての教育上の具体的方策と対応	これからの学校教育に期待される課題を明確にして、適切に対処できることを目指した解説を行います。具体的には、学習指導要領の改訂の動向等と関わり、教育改革と学校教育の在り方、特別支援教育の現状と課題、問題解決的な学習と教材、及び情報社会と情報モラル等を取り上げ、学校の対応について考察します。	笠原 清次 (芦屋大学特任教授) 福山 恵美子 (芦屋大学准教授) 安東 茂樹 (芦屋大学特任教授) 林 泰子 (芦屋大学講師)	6時間	令和2年8月19日(水)	幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭	6,000円	80人
「選択」③ 教育の情報化と教師力	昨今の教育の情報化の加速と重要性の高まりを受けて、学校現場で新たに求められる教師力としてプログラミング学習ツールやデータサイエンスの活用方法を学ぶ。	若杉 祥太 (芦屋大学講師)	6時間	令和2年8月20日(木)	小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 養護教諭 特別支援学校教諭	6,000円	40人
「選択」④ 幼児期の発達を踏まえた保育環境構成	①『早寝早起き朝ごはん』の重要性 ② 鍵盤ハーモニカの特性を活かした、楽しい楽器あそびの導入と展開、音楽の基礎的な力を養う具体的な方法 【※ 各自、鍵盤ハーモニカを持参ください】 ③ 乳幼児期の発達を踏まえた保育環境構成 【※ 幼少連携の観点から、小学校教諭も対象とします】	渡 康彦 (芦屋大学教授) 石田 愛子 (芦屋大学教授) 安藝 雅美 (芦屋大学講師)	6時間	令和2年8月20日(木)	幼稚園教諭 小学校教諭	6,000円	20人
「選択」⑤ 自己指導の力を育てる	①『早寝早起き朝ごはん』の重要性 ② 昆虫を使った理科の実験 ～アクトグラフで昆虫の活動を記録する。動物の活動を自動的に記録する装置をベランダや教室に設置することで、「昆虫の活動の不思議さやおもしろさ」「科学的な見方や考え方を養う」など教育現場でどのように利用できるかを考察する。 ③ 自己指導の力を育てる生徒指導の在り方 - 児童理解を通して一課題に応じたアセスメントとこれをもとにした指導の在り方を検討し、子どもたち一人ひとりの個性を伸ばしながら、社会的資質・行動力を高めるための方策を考える。	渡 康彦 (芦屋大学教授) 笠原 清次 (芦屋大学特任教授)	6時間	令和2年8月20日(木)	小学校教諭 特別支援学校教諭	6,000円	20人

<p>「選択」⑥ 保育の質と保育者の専門性</p>	<p>乳幼児期の育ちを保障する保育の質と保育者の専門性について考え合う。参加者とディスカッションも交えて進行する。乳幼児期の発達の中でも心の育ちに焦点をあて、育ちあう子ども集団をつくる保育者の役割について考えたい。 また、保育の中で子どもたちの学びを捉える視点と学びを深める援助について討議を深める。</p>	<p>大江 まゆ子（芦屋大学准教授） 大谷 彰子（芦屋大学准教授）</p>	<p>6時間</p>	<p>令和2年8月21日(金)</p>	<p>幼稚園教諭</p>	<p>6,000円</p>	<p>30人</p>
<p>「選択」⑦ 小学校における授業改善方法</p>	<p>・TPRやCLILなどの英語教育の基礎知識にも触れながら、小学校英語活動や英語科の授業で使う教室英語の基本フレーズや身近な単語を演習を通して理解を深める。 ・「主体的・対話的で深い学び」を算数科の授業で実現させていくための要素や方策について、プログラミング学習などの具体例を、実体験を通して理解を深める。</p>	<p>丹下 秀夫（芦屋大学准教授） 中村 整七（芦屋大学准教授）</p>	<p>6時間</p>	<p>令和2年8月21日(金)</p>	<p>小学校教諭 特別支援学校教諭</p>	<p>6,000円</p>	<p>30人</p>
<p>「選択」⑧ 聴く力・伝える力を深める コミュニケーション実践</p>	<p>① 「調べること」「まとめること」「伝えること」の総合的な学習において、相手を意識した調べ学習や自由研究等、身近な素材をテーマに「調べてまとめて伝える力」を考える。 ② 子ども達の情報伝達について「聴く力」と「伝える力」について考えます。メラビアンの法則やAIDMA理論に基づくグループ演習を体験して相互理解を深めるためのコミュニケーション学を実践的に展開する。</p>	<p>藤本 光司（芦屋大学 大学院教授） 森下 博行（芦屋大学教授）</p>	<p>6時間</p>	<p>令和2年8月21日(金)</p>	<p>幼稚園教諭 小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭</p>	<p>6,000円</p>	<p>40人</p>
<p>「選択」⑨ 体育・スポーツ指導の効果的な手法</p>	<p>本講義では「球技（ゴール型とネット型）」、「武道（剣道）」を取り上げ、授業づくりのヒントや部活動の指導に役立つ効果的な指導方法について演習形式で解説をするとともに、最新のトレーニング科学の知見と実践的なトレーニング方法について解説を行う。基本的に中学生や高校生への運動指導を対象とするが、小学校教諭も受講は可能。</p>	<p>青木 敦英（芦屋大学教授） 石川 峻（芦屋大学講師） 伊藤 武徳（芦屋大学特任准教授）</p>	<p>6時間</p>	<p>令和2年8月22日(土)</p>	<p>小学校教諭 中学校教諭 高等学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭</p>	<p>6,000円</p>	<p>40人</p>
<p>「選択」⑩ 特別支援教育におけるチーム・ティーチングと子どもの体力を高める運動遊び</p>	<p>・特別支援学校だけでなく通常の学校においても日常的に行われているチーム・ティーチングに関して、その歴史や捉え方を概説し、特別支援学校を中心としたチーム・ティーチングを通して改めてチーム・ティーチングについて考える。 ・幼少期の発達段階を踏まえ、子どもたちが楽しく全身を使って行う運動や遊びについて紹介(参加型)する。特に神経系の発達が著しい10才くらいまでの年代に着目し、遊びながら体力(運動能力)が向上、友だち作りが出来るような運動遊びについて取り上げる。 【※ 参加者は体操着・室内シューズを持参ください】</p>	<p>福山 恵美子（芦屋大学准教授） 竹安 知枝（芦屋大学准教授）</p>	<p>6時間</p>	<p>令和2年8月22日(土)</p>	<p>幼稚園教諭 小学校教諭 特別支援学校教諭 養護教諭</p>	<p>6,000円</p>	<p>30人</p>